

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターとがくししょうまの家										
指定管理者名	特定非営利活動法人とがくししょうま					法人番号	6100005012165				
所管課	主	102000	障害福祉課	副							
構成施設	1412	地域活動支援センターとがくししょうまの家									
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制	
施設概要	・作業室、事務室、休憩室、喫茶室、厨房										
施設設置目的	・障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことが出来るよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。										
基本方針等	・利用者または障害者の保護者の意思および人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。 ・地域および家庭との結びつきを重視した運営を行い、長野市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。										
主な実施事業	・地域活動支援センター事業										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人とがくししょうま			当該指定管理者の指定回数	1回
指定期間	平成30年04月01日	～	令和5年3月31日	5年	当該指定管理者の管理運営開始日 平成30年04月01日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
	利用者数	人/日	5	5	5	5	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) 利用定員 10人 ・登録人数 17人 知的と精神障害が半々の割合、男性10人 女性7人 利用者の年代:30~70代								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・支援法第77条第1項9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設および設備の維持管理に関する業務						
	自主事業	・毎週水曜日オレンジカフェ開催時に介護予防教室を実施						
サービス維持・向上の取組み (広報等)	・「しょうまの花」通信を発行、関係者や家族に配布(年6回) ・利用者の送迎実施(指定事業:月曜日~金曜日の毎日/自主事業:オレンジカフェ開催日)							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
(2) 調査、会議等の内容		・利用者が話やすいように工夫しながら、利用者からの申し入れ時や作業移動中の車の中で、通常の会話による自然な形で聞き取り調査を行っている。 ・作業終了後にお茶の時間を設け、利用者と施設職員全員でお茶を飲みながら聞き取りを行っている。 ・知的障害の利用者は、自分の思いを上手く表現出来ない人が多い。また、一人暮らしの利用者は、家族等からも思いを聞き取ることが難しいため、保健師や介護士との連携を密にしながら把握対応している。		
(3) 調査、会議等の結果		・施設や職員に対する不満等はなかった。 ・利用者の希望や要望は、毎月施設で行っている行事等に反映させている。		
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	・働くことが出来てうれしい。作業で賃金をもらえるのが楽しみ。 ・食事を安く提供してもらえるのでありがたい。 ・規則正しい生活が出来るようになった。 ・毎日過ごす場所が有るのがうれしい。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	・特になし		
	《対応措置》	・特になし		

3

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	使用料		使用料			
	指定管理料	8,480,000	指定管理料	8,480,000		雑(納付金)		雑(納付金)			
	委託料	776,900	委託料	776,900		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
	販売収入等	1,500,000	販売収入等	1,627,913		貸付料		貸付料			
	その他収入	50,000	その他収入	72,373		その他		その他			
	計	10,806,900	計	10,957,186		計	0	計	0		
	支出	人件費	7,000,000	人件費		7,379,357	歳出	指定管理料	8,480,000	指定管理料	8,480,000
		設備管理費	30,000	設備管理費		21,146		委託料		委託料	
		備品購入費	200,000	備品購入費		395,000		需用費		需用費	
		修繕費	50,000	修繕費		0		役務費		役務費	
光熱水費		450,000	光熱水費	442,639	使用料・賃借料			使用料・賃借料			
事業費		750,000	事業費	681,497	修繕費			修繕費			
事務経費		1,000,000	事務経費	1,202,911	工事請負費			工事請負費			
本社経費		0	本社経費	0	備品購入費			備品購入費			
その他		926,900	その他	1,061,330	その他			その他			
工賃支払		400,000	工賃支払	398,945	計	8,480,000		計	8,480,000		
計	10,806,900	計	11,582,825	計	8,480,000	計	8,480,000				
自主事業	収入	50,000	収入	58,000							
	支出	50,000	支出	38,000							
	自主事業損益	0	自主事業損益	20,000							
損益		0		-605,639	差引	-8,480,000		-8,480,000			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合) 63.7%											
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※すべてで、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 所長(常勤)1人、支援員(常勤)2人、支援員(非常勤)3人 全員が市内在住		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		3
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		
	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	・豊岡荘(特別養護老人ホーム)の清掃業務を受託し、行っている。 ・長野市衛生センターから、豊岡地区3カ所の公衆トイレ清掃業務を受託し、行っている。 ・地区住民自治協議会との連携で集いの場「オレンジカフェ」を毎週水曜日に開催。 ・地域で調達可能なものは地域で調達している。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 <b>60</b>	
施設の有効活用	3	6		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	3	6		
評価理由	・施設利用者に対する支援の方法について、毎月1回、地区保健センター保健師との職員会を設け、情報交換を行うことで、細やかな対応ができています。 ・地区住民自治協議会との連携により、利用者の生活状況の把握にあわせ、緊急時対応についても、関係者間で情報共有されている。 ・必要な保守点検の実施による施設維持管理および防災訓練の実施による危機管理対策が講じられており、適切な事業運営が行われている。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)	
	施設立地が中山間地という地域的要因により、利用者数の減少が予想されている。	地区保健師等との連携により、戸隠地区内だけでなく、隣接する地区においても利用希望者や支援を必要としている方の掘り起こしを行った結果、新規利用者の獲得に結びついた。		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・他地区からの利用者獲得を積極的に図っていくよう、保健師等との連携を促していきたい。 ・地域の交流の場という施設の利点を生かし、住民自治協議会や保健・福祉等の関係機関との更なる連携強化により、今後も利用者や家族が、地域の中で安心して社会生活を営むことができるよう、指定事業を継続していただきたい。 ・高齢者を対象とした「オレンジカフェ」や、介護予防教室は、毎週好調に開催されていることから、今後も参加者のニーズにあわせ、意欲的に自主事業を展開していただきたい。			

指定管理者自己評価		
<p>(1) 今年度の取組みに対する評価</p> <p>① サービス向上に向けての取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 利用者が楽しく過ごせ、生きがいを持てるような活動支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の行事の実施: お花見会、地区内散策2回、料理教室2回、お買い物ツアー2回、七夕祭り、クリスマス会、バーベキュー会、新年会 (※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止により、未実施となったものもあり。)</li> <li>・利用者の状況に応じた生産活動: 特養老人ホーム豊岡荘の清掃(毎日)、市営公衆トイレの清掃3か所(週4回)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>食堂・喫茶業務(配膳等の作業や出前)</li> </ul> </li> <li>・創作活動: 古紙利用のごみ箱づくり、薪ストーブ用焚き付け紙作り等</li> <li>・その他: 施設内大掃除清掃作業、敷地内草取</li> </ul> </li> <li>* 利用者送迎の実施(毎日)、</li> <li>* 戸隠保健センター保健師との職員会(情報交換会)</li> <li>* 避難通報訓練(年2回)</li> <li>* しょうま通信の発行年6回</li> </ul> <p>② 業務の効率化に対する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計士の起用により、適正かつ合理的な会計施行ができています。</li> <li>・書類の電子データ化と共有化により書類管理の効率化を行った。</li> <li>・適材適所への業務配分と責任を自覚した仕事のやり方を推進した。</li> </ul> <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染防止対策を徹底した。</li> </ul>		
<p>(2) 指定管理者業務実施上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の利用者は、介護保険の併用での日常生活になっている。日中活動において、作業時以外での支援員の支援が必要となる場面が増えており、安全に日々を過ごすためには、支援員の増員を検討する必要がある。</li> <li>・山間地であるため、交通事情も悪く送迎が必須条件になっている。利用者個々の都合に合わせた利用が出来難く、送迎の負荷も増している。</li> <li>・清掃作業は、利用者が少ない場合には職員の負担が大きい。</li> <li>・利用者および保護者の高齢化や一人暮らしなどの状況変化で、しょうまの家利用時間帯以外の支援が必要な利用者が増えている。</li> </ul>		
<p>(3) 総合評価</p>	<p>評価基準</p> <p>【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり</p> <p>【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る</p>	<p>指定管理者 自己総合評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">C</p>
<p>① 評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「オレンジカフェ」や「森林の会」などの集いの場からの昼食の注文や近隣施設・工事関係者等からの食堂・喫茶部分の利用が多かった。</li> <li>食堂・喫茶は、利用者の活動の場であるため、今後も地域の交流の場として運営していきたい。</li> <li>・通所者への対応も、地区保健師との連携や住自協、地区内の関連部署と連携を図ることで、目標どおりのサービスを提供できた。</li> </ul> <p>② 次年度以降の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうまの家の活動を地区内に広く知ってもらうために、会報「しょうま通信」の配布先を戸隠地区全域に広げる。</li> <li>・通所者と地域人たちとの交流の輪を広げるため、新型コロナウイルス感染症防止に努めつつ、地区イベントへの積極参加や、施設行事も地区の人に参加を呼びかける。</li> <li>・施設職員を増やし、通所者への余裕のある対応ができる様にする。</li> <li>・食堂・喫茶の運営も近隣施設への呼びかけや、メニュー等を再検討や、食材の調達方法等を検討して安定した運営を図りたい。</li> <li>・通所者も職員も楽しく笑顔で過ごせる空間を継続していきたい。</li> </ul>		